

## ●新型コロナウイルス感染症の知識

■Q：日本ではこれまでどのくらいの人が新型コロナウイルス感染症と診断されていますか？

A：日本ではこれまで約 96000 人が新型コロナウイルス感染症と診断されており、これは全人口の約 0.08% に相当します。年代別では 20 代が最も多く、20 代人口の約 0.2% に相当します。(10/27 現在)  
(11/27 現在 142846 人に増加しました)

■Q：新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、重症化する人や死亡する人はどれくらいですか？

A：新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、重症化する人の割合や死亡する人の割合は年齢によって異なり、高齢者は高く、若者は低い傾向にあります。

重症化する割合や死亡する割合は以前と比べて低下しており、6 月以降に診断された人の中では、

①重症化する人の割合は約 1.6% (50 歳代以下で 0.3%、60 歳代以上で 8.5%)

②死亡する人の割合は約 1.0% (50 歳代以下で 0.06%、60 歳代以上 5.7%) となっています。

■Q：新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、重症化しやすいのはどんな人ですか？

A：新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち重症化しやすいのは、高齢者と基礎疾患のある方です。重症化しやすい基礎疾患には慢性閉塞性肺疾患 (COPD)、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、心血管疾患、肥満があります。また妊婦や喫煙者なども注意が必要とされています。

■Q：海外と比べて、日本で新型コロナウイルス感染症と診断された人の数は多いのですか？

A：日本の人口当たりの感染者数、死亡数は全世界の平均や主要国と比べて低い水準を推移しています。

■Q：新型コロナウイルスに感染した人が他の人に感染させてしまう可能性がある期間はいつまでですか？

A：新型コロナウイルスに感染した人が他の人に感染させてしまう可能性がある期間は、発症の 2 日前から発症後 7~10 日間程度とされています。またこの期間のうち、発症の直前・直後で特にウイルス排出量が高くなると考えられています。

■Q：新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、どのくらいの人が他の人に感染させていますか？

A：新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、他の人に感染させているのは 2 割以下で、多くの人は他の人に感染させていないと考えられています。

■Q：新型コロナウイルス感染症を拡げないためには、どのような場面に注意する必要がありますか？

A：新型コロナウイルス感染症は、主に飛沫感染や接触感染によって感染するため、3 密 (密閉・密集・密接) の環境で感染リスクが高まります。

■Q：新型コロナウイルス感染症を診断するための検査にはどのようなものがありますか？

A：PCR 検査、抗原定量検査、抗原定性検査などがあります。鼻咽頭ぬぐい液、唾液、鼻腔ぬぐい液などを使います。それぞれの検査にはメリット (判定時間が早い)、デメリット (判定時間がかかる、偽陰性・疑陽性がある) があり、また発症からの経過時間 (9~10 日) の適応も決められています。

検査の対象者		PCR検査 (LAMP法含む)			抗原検査(定量)			抗原検査(定性)		
		鼻咽頭	鼻腔	唾液	鼻咽頭	鼻腔	唾液	鼻咽頭	鼻腔	唾液
有症状者	発症から 9日目以内	○	○	○	○	○	○	○※1	○※1	—
	発症から 10日目以降	○	○	—	○	○	—	△※2	△※2	—
無症状者		○	—	○	○	—	○	—	—	—

※1 発症2日目~9日目以内に使用 ※2 陰性の場合は鼻咽頭PCR検査等を実施

※上記内容は厚労省、大学病院、医師会等の資料を引用しました。